

オレゴン州：小麦作柄と気象状況

2005 年 8 月 30 日

2005 年 8 月 21 日、28 日現在の概況：

8 月 21 日に終わる週、そして 8 月 28 日に終わる週ともに気温は多少平年を上回り、降雨の無い気象であった。州北中央地区の小麦地帯では土壌水分不足の状態となっている。冬小麦並びに春小麦の収穫が進み、8 月 28 日現在冬小麦は州の 95%にて完了、春小麦は州全体の 81%にて完了した。冬小麦は多少平年より早い、春小麦は平年並みの進捗であった。土壌水分は低く、収穫の完了した m 農家では 2006 年産冬小麦の播種の為、農機具の整備をしながら雨待ちの状態である。1 週間の州平均業稼動日数は 6.9 日（前週：6.9 日）であった。冬小麦並びに春小麦の単位収量は、開花期の降雨、登熟期の好天にて例年以上の結果が出ている。品位も特に悪い点が無い。

8 月 1 日付け USDA 発表の冬小麦の生産予想では、単位収量は 7 月 1 日付け予想より 4.0 bu/acre 増え 65.0 bushels/acre となった。春小麦の 8 月 1 日予想も 7 月 1 日付け予想より 3.0 bu/acre 増え(昨年：48.0 bu/ac)60.0 bu/acre となった。詳細は別表の通り。

土壌水分：8 月 28 日現在

	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	22	50	28	0
Subsoil (%)	18	53	29	0

小麦生育状況：8 月 28 日現在

	This Week	Last Week	Last Year	5-Year Ave.
Spring wheat Harvested(%)	91	81	86	91
Winter wheat Harvested(%)	97	95	95	98

Source: Oregon Agricultural Statistics Services

8 月 1 日付け USDA 発表冬小麦の生産量予想：

State	Harvested Area 1,000 Acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 Bushels	
	2004	2005	2004	2005		2004	2005
				July 1	Aug 1		
OR	780	840	61.0	61.0	65.0	47,580	54,600
USA	34,462	34,271	43.5	44.5	44.4	1,499,434	1,520,848

8 月 1 日付け USDA 春小麦生産量予想：

State	Harvested Area 1,000 acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 bushels	
	2004	2005	2004	2005		2004	2005
Crop				July 1	Aug 1		
OR	175	125	48.0	57.0	60.0	8,400	7,500
USA	13,174	13,637	43.2	43.2	40.6	568,918	553,373

この作柄・気象レポートに関してのご質問は下記にお願い致します。

小川正晃：<mailto:ogawa.max@omicnet.com>